



小型電気温水器 (センサー水栓つき)

施工説明書

施工前に必ずお読みください。

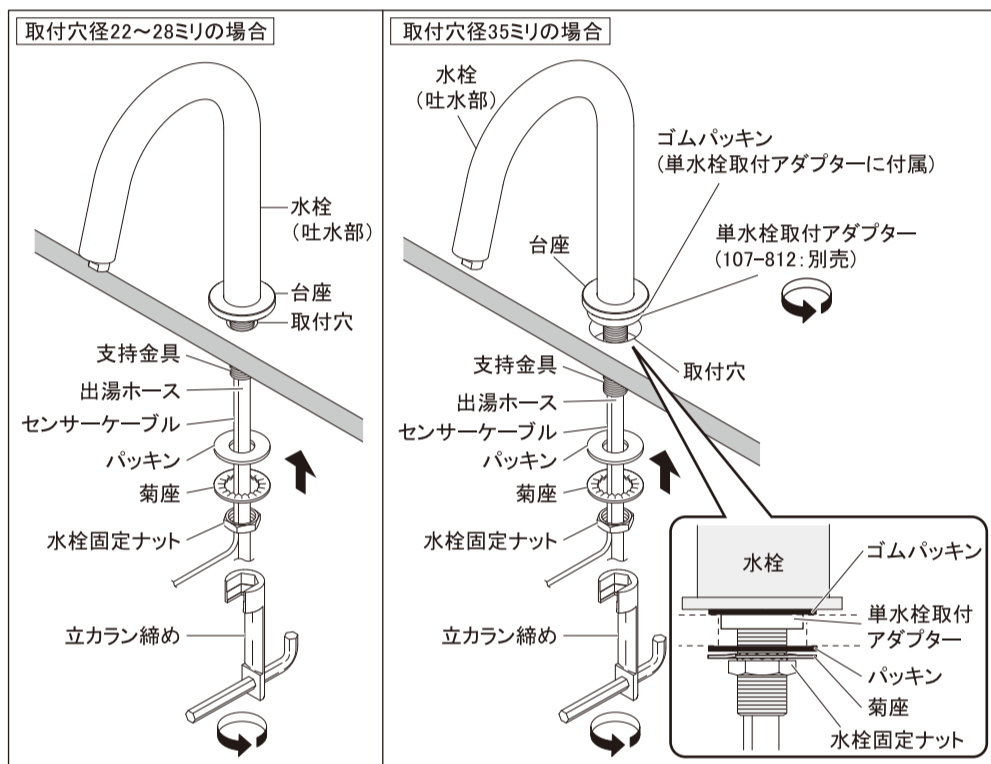
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
この施工説明書は、別紙「安全上のご注意」、「施工前の確認」とあわせてご使用ください。

このたびは、小型電気温水器をお買い求めいただき、
まことにありがとうございました。

取付方法

* 取付前に元栓を開けて水を流し、配管内のゴミや空気などを排出してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

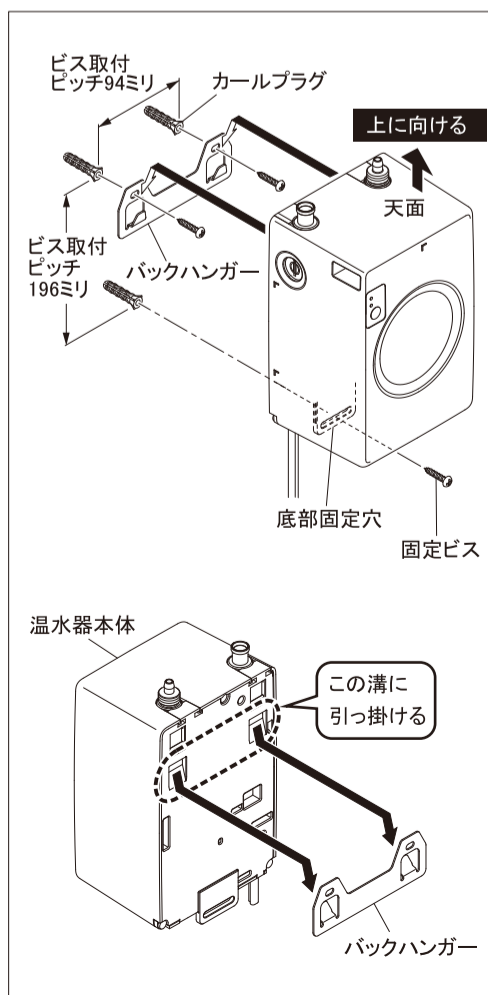
1.水栓(吐水部)の取付け



- ①パッキン・菊座・水栓固定ナットを水栓(吐水部)から取外します。
- ②台座の下にパッキンがついていることを確認のうえ、取付穴にセンサーケーブル、出湯ホース、支持金具の順に通し、吐水口が正面を向くようにします。取付穴径35ミリの場合は、単水栓取付アダプターを支持金具の根元までねじ込んでから取付穴に通します。
- ③上図のようにパッキン・菊座・水栓固定ナットを支持金具に通してから、水栓固定ナットを「立カラン締め」などでしっかりと締付けます。

注意 水栓固定ナットを締付ける際は、センサーケーブルをかみ込まないようにご注意ください。

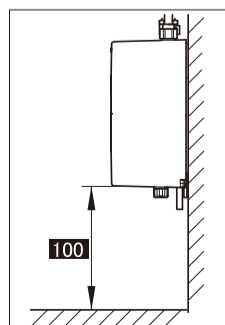
2.温水器本体の取付け



- タイルまたはコンクリート壁に取付ける場合
- ①ビス穴位置に下穴を開けカールプラグ(現場手配)を打込みます。
*カールプラグは固定ビス(φ5×30)に合うものを手配してください。
 - ②バックハンガーを固定位置に合わせて固定ビス2本でしっかりと固定します。
 - ③バックハンガーへ電気温水器本体を引っ掛け、底部固定穴を固定ビス1本で固定します。
*本体が水平になるように取付けてください。

- 木製の壁材に取付ける場合
- ①製品重量に耐えうる構造であることを確認し、バックハンガーを固定ビス2本で固定します。
 - ②底部固定穴を固定ビス1本で固定します。
*必要に応じて壁構造に十分な補強を施してください。

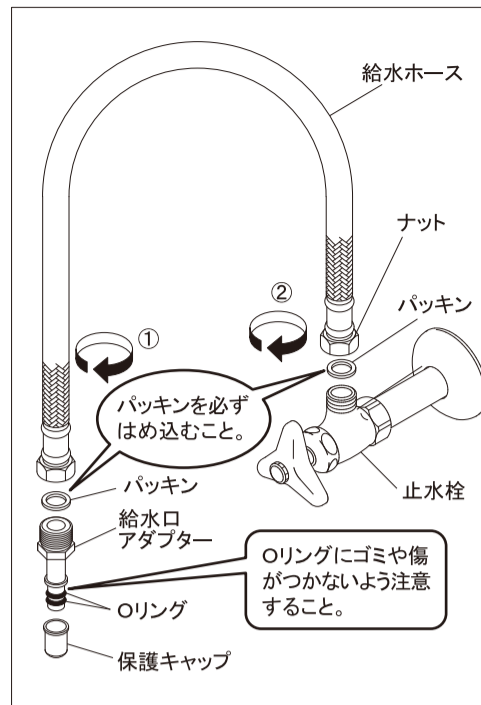
* 本体の水ぬれ防止、本体の排水を容易にするためF.Lから本体底面を100ミリ以上上げて取付けてください。



必ず実行 温水器本体を設置する際は必ず天面上にして水平に取付けてください。

取付方法(つづき)

3.給水ホースの接続



①給水ホースの一方のナットにパッキンをはめ込み、給水口アダプターを「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。

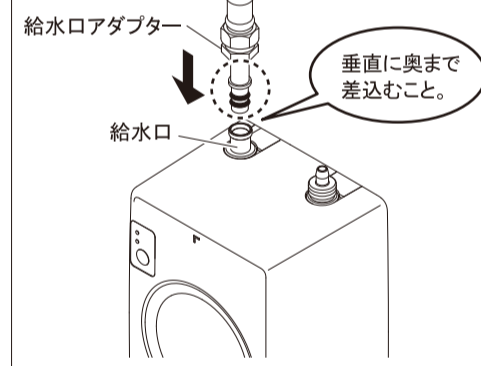
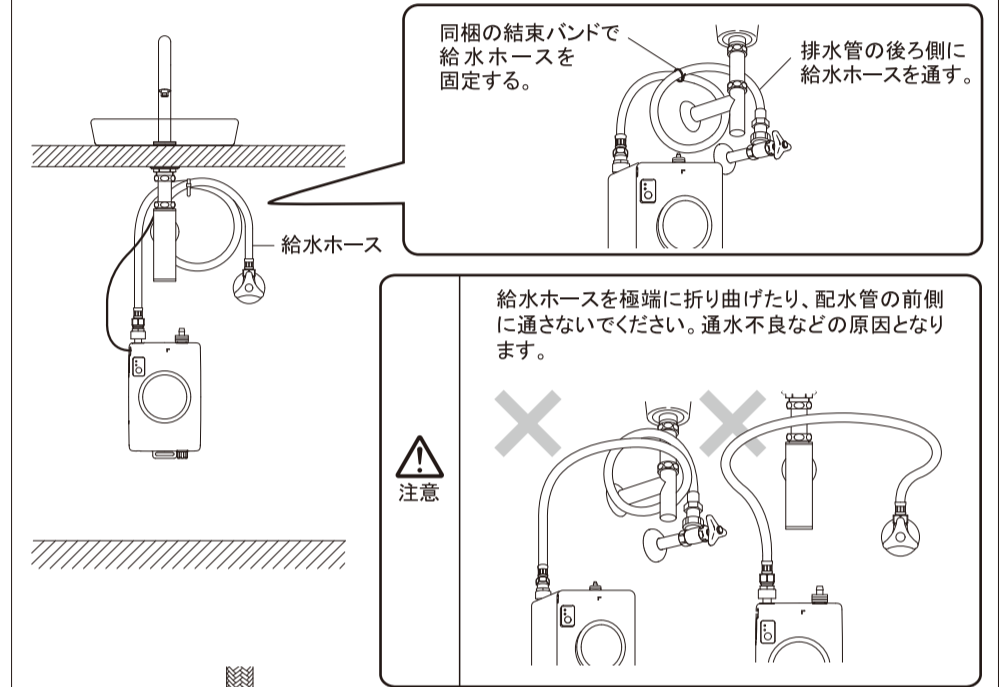
禁止 必ず付属の給水ホースをご使用ください。止水栓との接続にはフレキパイプや、他のホースは絶対に使用しないでください。

②給水ホースのもう一方のナットにパッキンをはめ込み、止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

注意 パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れにご注意ください。

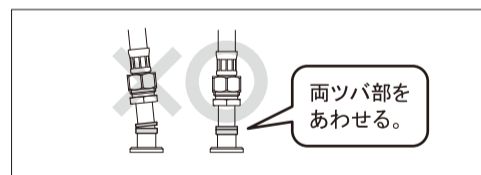
③給水口アダプターの先端の保護キャップを外します。
④止水栓を開けて配管内のゴミや空気などを排出し、止水栓を閉めます。

給水ホースを下図のように取付けてください。

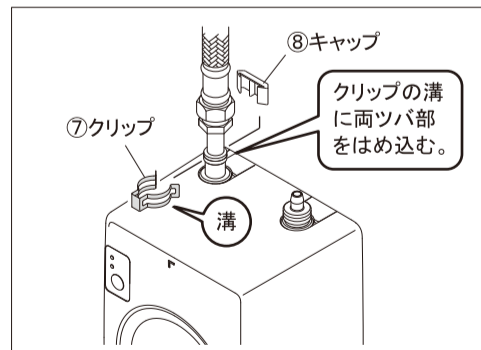


⑤給水口アダプターを温水器本体の給水口へ垂直に奥までしっかりと差込みます。

必ず実行 給水口アダプターを給水口に差込むときは、オリングに傷を付けないよう垂直にゆっくり差込んでください。



⑥給水口アダプターが給水口に正しく差込まれているか確認します。

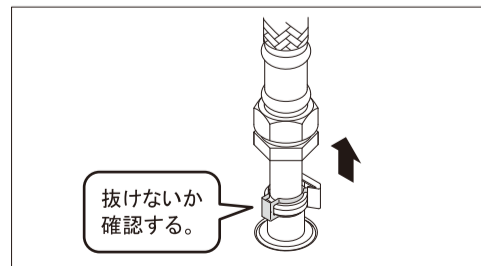


⑦クリップの溝に、両ツバ部(給水口アダプター側と給水口側)が収まるようにクリップをはめ込みます。

注意 クリップで手を切らないようにご注意ください。

⑧キャップをクリップに取付けます。

必ず実行 クリップが外れないように、固定後は必ずキャップを取付けた状態にしてください。



必ず実行 クリップが正しい位置に取付けられていないと通水時に給水ホースが抜け、漏水を起こす恐れがあります。図を参考に、確実に取付けられているかご確認ください。

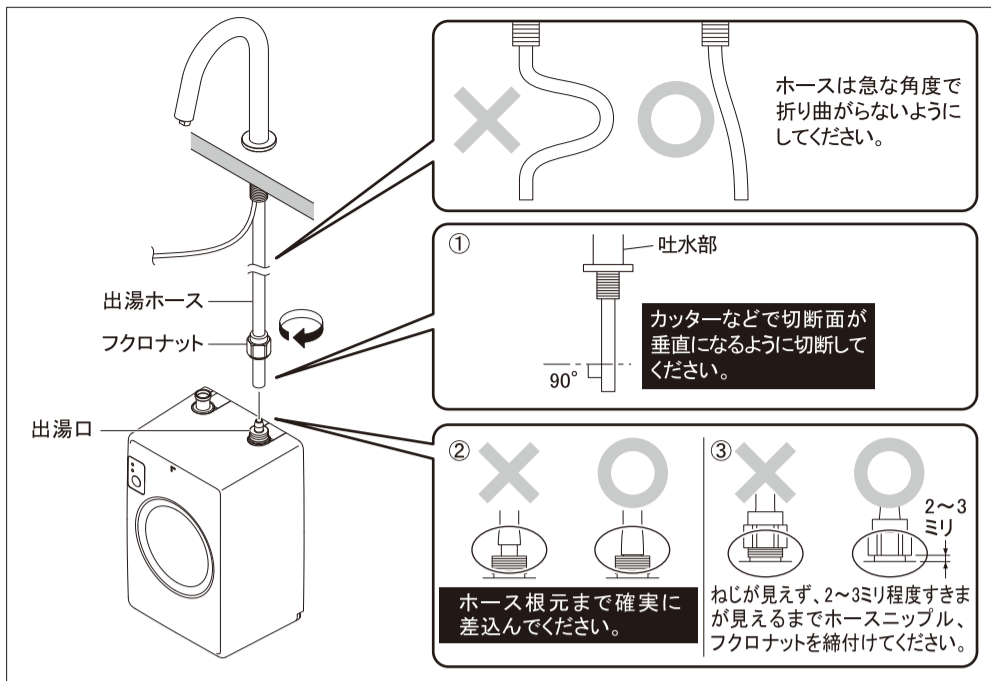
正しく取付けられているか

ななめに なまなまになっている

両ツバ部が はまっていない

取付方法(つづき)

4.出湯ホースの接続

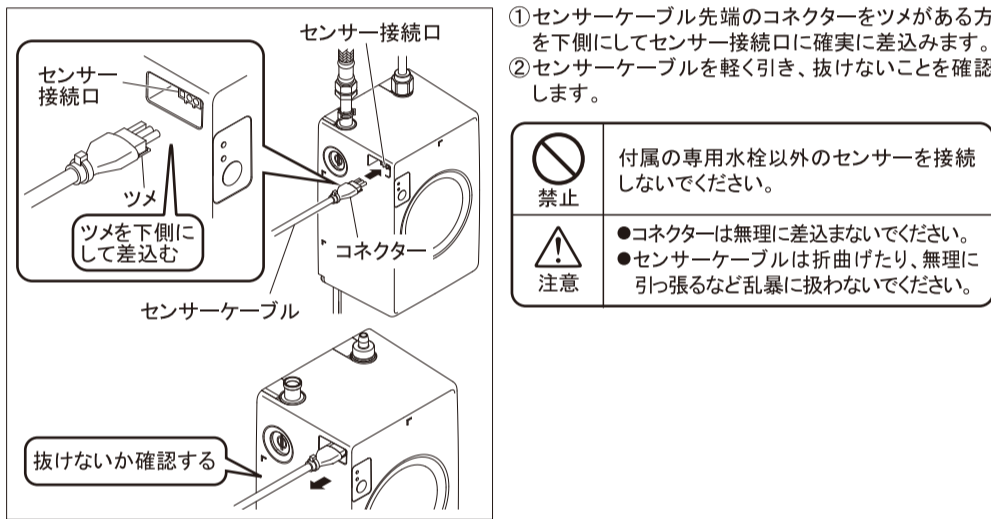


- ①出湯ホースを温水器本体の出湯口に合わせて上図のように適切な長さに切断します。
- ②フクロナットをホースに通してから、上図のように出湯口の根元まで確実に差込みます。
- ③②でホースに通したフクロナットを出湯口にねじが見えず、2~3ミリ程度すきまが見えるまで「レンチ」などで締付けます。

注意

- ホースは急な角度で折り曲がらないように取付けてください。
- ホースの切断面が垂直になるように切断してください。
- ホースは出湯口の根元まで確実に差込んでください。
- フクロナットは、出湯口のねじが見えなくなるまで締付けてください。

5.センサーケーブルの接続



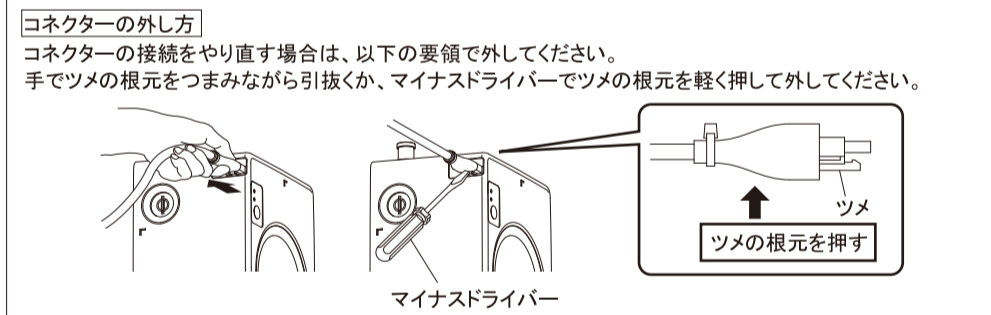
- ①センサーケーブル先端のコネクターをツメがある方を下側にしてセンサー接続口に確実に差込みます。
- ②センサーケーブルを軽く引き、抜けないことを確認します。

禁止

付属の専用水栓以外のセンサーを接続しないでください。

注意

- コネクターは無理に差込まないでください。
- センサーケーブルは折曲げたり、無理に引っ張るなど乱暴に扱わないでください。



6.電気工事

温水器専用100V・15Aの「接地用端子のついたコンセント」を用意し、アース工事を行ってください。

アース接続

電気工事は関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース工事(D種接地工事100Ω以下)を行ってください。誤った工事を行うと故障や漏電の際に感電する恐れがあります。

必ず実行

温水器本体の銘板や仕様表に記載している消費電力、電源を確認し、必ずこれに適した配線をしてください。火災の原因となります。

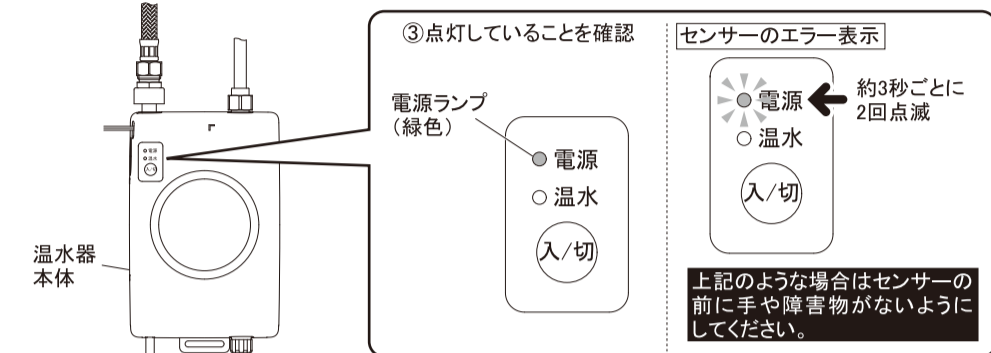
禁止

- 水・油・洗剤などがかからない位置に電源プラグ用のコンセントを設けてください。感電の原因となります。
- アース線はガス管・水道管・避雷針などには絶対に接続しないでください。感電の原因となります。
- 指定する電源以外では使用しないでください。故障や火災などの原因となります。
- 接地用端子のないコンセントには接続しないでください。すでに接地用端子のないコンセントが設置されている場合は、コンセントを付替えてください。接地極が付きコンセントの場合は、アースターミナル付変換アダプター(定格125V・15A/参考:パナソニック電工品番WH2881P)を別途ご準備のうえ接続してください。故障や漏電時に感電・火災の原因となります。

この温水器は100V/1242Wの電力を消費します。

7.電源の接続

- ①温水器本体のアース線をコンセントの接地用端子に接続します。
 - ②電源プラグをコンセントの根元まで確実に差込みます。
- *電源プラグをコンセントに差込むと温水器の電源が入り、初期設定を行いますので、センサーに手をかざしたり、手洗器(洗面器)内に障害物を置いたりしないでください。
- ③温水器本体正面の電源ランプが点灯していることを確認します。
- *電源ランプが点滅している場合は、初期設定の際にセンサーの前に手や障害物があったためのエラー表示です。センサーの前に手や障害物がないようにしてください。



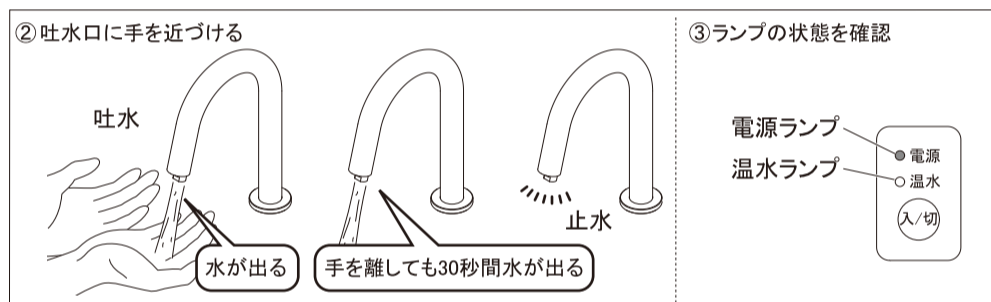
必ず実行

電源プラグをコンセントに差込むときは、根元まで確実に差込んでください。故障や感電・火災の原因となります。

禁止

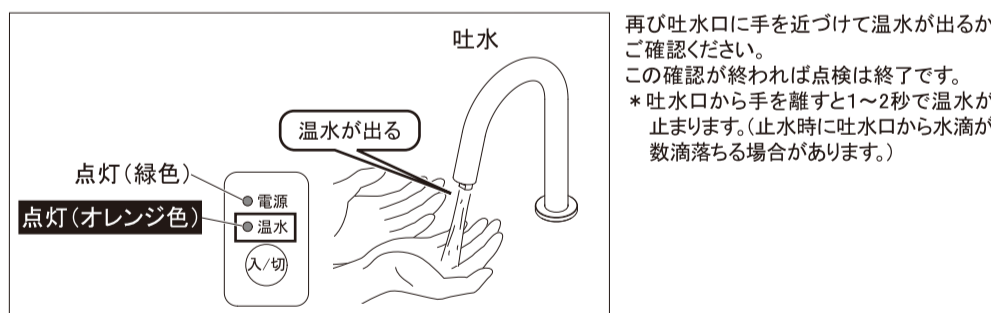
- 電源コードの加工(切断や継足しなど)はしないでください。感電・火災の原因となります。
- コードを乱暴に扱ったり折曲げたり、重いものを載せるなど、ガタついているコンセントを使用しないでください。感電・火災の原因となります。

施工後の点検



- ①止水栓を開き、各部に漏水がないかを確認します。温水器内部に定流量弁を内蔵していますので、通常は流量の調節は不要です。漏水が発見された場合は、止水栓を閉めて漏水する箇所を施工しなおしてください。
- ②吐水口に手を近づけて水を出し、各部に漏水がないか確認します。取付後初めて水を出す場合、給水配管内に混入している空気を排出するため、30秒間連続して水が出ます。吐水口から手を離しても30秒間は水が止まりません。
- *水が出ない場合は、「取付方法 5.センサーケーブルの接続」に戻ってご確認ください。
- *漏水が発見された場合は、止水栓を閉めて漏水する箇所を施工しなおしてください。
- ③吐水口に手を近づけてから30秒後に水が止まったら、電源ランプと温水ランプの状態をご確認ください。

電源ランプと温水ランプが点灯している 給水配管内の空気が排出された場合



再び吐水口に手を近づけて温水が出るかご確認ください。この確認が終われば点検は終了です。
*吐水口から手を離すと1~2秒で温水が止まります。(止水時に吐水口から水滴が数滴落ちる場合があります。)

電源ランプが点滅、温水ランプが消灯している 給水配管内に空気が残っている場合



再び吐水口に手を近づけると手順②と同様に30秒間連続して水が出ます。水が止まったら、再び電源ランプと温水ランプの状態をご確認ください。電源ランプと温水ランプが点灯するまでこの手順を繰り返して、給水配管内に混入した空気を排出してください。

- *配管内のゴミがストレーナーに詰まって流量が少なくなる場合があります。取付後の点検の後に取扱説明書の「お手入れのしかた」ストレーナー・アミのお掃除」を参照してストレーナーを掃除してください。
- *施工後に引渡しまで長期間使用しない場合は、取扱説明書の「お手入れのしかた」長期間使用しないとき」を参照して水抜きを行ってください。